

地域特性を踏まえたアウトカム指標の抽出

山口県の地域特性から実感しやすい指標を抽出

山口県の地形や都市構造等に起因する地域の特性や道路利用者が感じる使い勝手など、総合的にみちづくり課題の要点を把握・整理し、道路を利用しているみなさんが実感しやすいアウトカム指標を抽出しています。

〔山口県の地域特性〕

課題 地域連携の強化

分散型の都市構造

- ・中規模の都市が点在しており、8つの広域生活圏からなる分散型の都市構造を形成。
- ・それぞれの都市圏が個性を活かしたまちづくりを推進。市町村合併により地域内連携の重要性が高まる。

広域ネットワーク整備の不足

- ・山陰側と山陽側を結ぶネットワークが不足。



広域生活圏と圏域中心都市30分圏域

中規模の都市が点在しており、分散型の都市構造を形成している。山陰側と山陽側を結ぶネットワークが不足している。

● : 広域生活圏の中心都市



山陰側や島しょ部では、高速インターチェンジから30分以上、また、3次医療施設まで1時間以上を要する地域が多い。

○ : 高速IC30分圏外エリア

山陽側の都市部では、事故や渋滞が集中的に発生している。また、都市の交通渋滞はCO₂の発生要因となっている。

■ : 主要渋滞ポイントが集中するエリア

中山間地域では、未改良区間や異常気象時事前通行止め区間が多く、災害時の交通確保に不安を抱える。

■ : 農林統計上の中山間地域

課題 住民意向の反映と透明性の向上

高い山口県の道路利用者満足度

- ・よく利用する道路全般についての満足度は全国1位。
- ・その他、幹線道路に対する満足度(3位)、道路ネットワークに対する満足度(3位)、安全性に対する満足度(4位)など、全般的に評価は高い。

さらなる透明性の確保が求められる

- ・一方、「道路行政は変わってきているか?」との問いに対する満足度は23位と低い。

山口県の道路についての満足度(抜粋)

47都道府県ランキング

よく利用する道路全般についての満足度 **全国1位**
3.13 / 5点

道路行政は変わってきているか? **全国23位**
3.02 / 5点

出典:平成16年度 道路利用者満足度調査(国土交通省道路局)

アウトカム指標 圏域中心都市30分圏人口カバー率

アウトカム指標 道路利用者満足度

課題 山陽側に集中する交通への対応

渋滞および事故の集中発生

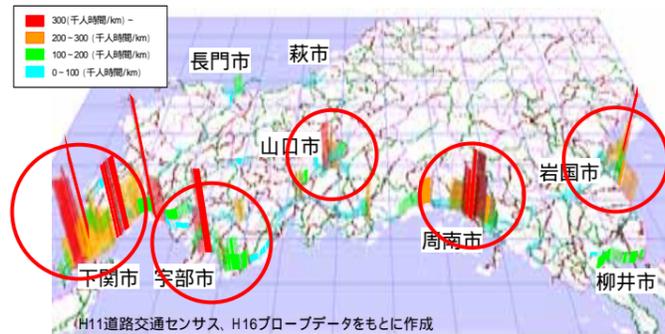
- ・山陽側の都市部における交通の集中や輻輳により事故や渋滞が集中的に発生。

自動車交通による環境の悪化

- ・渋滞によるCO₂排出量の増加や沿道騒音の増加による生活環境の悪化。

利用者の多い旅客施設が集中

- ・新幹線駅、空港などの利用者の多い施設が山陽側の都市部に集中。



山口県内の渋滞損失時間

課題 サービス水準の確保と安全性の向上

低いアクセス性

- ・山陰側に高規格道路がなく高速ICまで30分以上を要する地域が多い。

災害に対する脆弱性

- ・未改良区間や要耐震橋梁、異常気象時事前通行規制区間などを多く抱える。
- ・山陽側にしか3次医療施設がなく、山陰側からは60分以上を要する地域が多い。

公共交通サービスの不足

- ・不採算路線の撤退等により公共交通サービスが不足。



高速IC30分圏域と中枢都市(広島・福岡)2時間圏域

アウトカム指標 渋滞損失時間 死傷事故率 CO₂排出量(自動車交通) 歩道設置率

アウトカム指標 高速IC30分圏人口カバー率 要防災対策箇所解消率